



A 試合会場レポート

試合番号 106

開催日 2016/01/10

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 会場：東京体育館

観客数： 10,000	開始時間： 13:50	終了時間： 15:11	試合時間： 01:21	主審： 上土谷 政高	副審： 伊藤 薫
-------------	-------------	-------------	-------------	------------	----------

八王子実践高等学校

監督： 貴井 直輝
コーチ： 熊田 隆一

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

0	21	第1セット 【 00:27 】	25	3
	11	第2セット 【 00:22 】	25	
	18	第3セット 【 00:26 】	25	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

下北沢成徳高等学校

監督： 小川 良樹
コーチ： 佐々木 早紀

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

【 】内はセット時間
()内は交代選手

<監督コメント>

21	野嶋 (華澄)	東谷	第1セット	熊井	山崎	25
	(樋沢) ()	() ()		() (大土)		
	野嶋 (華鈴)	平川		小茂田	山口	
() ()	() ()	() (片岡)				
吉田	積山	黒後	堀江			
() ()	() ()	() (武田)				
リベロ： 森田		リベロ： 池谷				
11	吉田	野嶋 (華鈴)	第2セット	熊井	山崎	25
	() ()	(八木沢) ()		() ()		
	積山	野嶋 (華澄)		小茂田	山口	
() ()	(樋沢) ()	(高橋) ()				
平川	東谷	黒後	堀江			
() ()	() ()	() ()				
リベロ： 森田		リベロ： 池谷				
18	野嶋 (華澄)	東谷	第3セット	熊井	山崎	25
	(本村) ()	() ()		() (大土)		
	野嶋 (華鈴)	平川		小茂田	山口	
(伊藤) ()	() ()	() (片岡)				
吉田	積山	黒後	堀江			
() ()	(樋沢) ()	() (武田)				
リベロ： 森田		リベロ： 池谷				
	() ()	第4セット	() ()			
() ()	() ()		() ()			
() ()	() ()		() ()			
リベロ：		リベロ：				
	() ()	第5セット	() ()			
() ()	() ()		() ()			
() ()	() ()		() ()			
リベロ：		リベロ：				

<監督コメント>

<要約レポート>

春高・全日本高校選手権とともに史上3度目の東京対決となった女子決勝。優勝すれば1983年以来32年ぶり6度目の選手権制覇となる八王子実践（東京都第一代表）と、2012年に次いで3年ぶり3度目の選手権を狙う下北沢成徳（東京都第三代表）の対戦は、大方の予想に反して一方的な展開となり、下北沢成徳の完勝となった。

第1セットは下北沢成徳・熊井、堀江の強打に対し、八王子実践も野嶋（華澄）、積山の速攻を軸に主導権を譲らず中盤までシーソーの展開であったが、16点を過ぎたところで下北沢成徳が抜け出し、最終的には高さで八王子実践を押し切った。

第2セット、下北沢成徳の圧力は更に激しさを増し、黒後が徐々に調子を上げてきたこともあって、高いブロック、パワフルなスパイクで八王子実践に全く隙を与えずセットを連取した。

第3セット、八王子実践は今大会注目選手となった一年生エース東谷が意地を見せ、ブロックにぶつけてフォローを繰り返す長いラリーをものにしながら粘り強く食い下がるが、下北沢成徳の高さと圧力は最後まで弱まることはなかった。最後は黒後の強打が八王子実践のブロックを跳ね飛ばし、セットカウント3-0で下北沢成徳の勝利となった。

作成者： 岩田 博雄（埼玉）



A 試合会場レポート

試合番号 105

開催日 2016/01/10

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会男子 会場：東京体育館

観客数： 10,000	開始時間： 11:30	終了時間： 12:52	試合時間： 01:22	主審： 大下 孝	副審： 浅野 泰弘
-------------	-------------	-------------	-------------	----------	-----------

東福岡高等学校

監督：藤元 聡一
コーチ：小藤 稔

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

3	25	第1セット 【 00:23 】	18	0
	25	第2セット 【 00:26 】	21	
	25	第3セット 【 00:27 】	19	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

鎮西高等学校

監督：畑野 久雄
コーチ：宮迫 竜司

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

【】内はセット時間
()内は交代選手

<監督コメント>	

25	安部 (宮園)	井上 (福元)	第1セット	川崎 ()	鎌田 ()	18
	古賀 (健)	金子 ()		宮浦 ()	西田 ()	
	井口 ()	佐伯 (古賀(拓))		竹下 ()	原賀 ()	
リベロ： 正近				リベロ： 嶋田		
25	井上 ()	金子 ()	第2セット	川崎 ()	鎌田 ()	21
	安部 (宮園)	佐伯 ()		宮浦 ()	西田 ()	
	古賀 (健)	井口 ()		竹下 ()	原賀 ()	
リベロ： 正近				リベロ： 嶋田		
25	安部 (宮園)	井上 ()	第3セット	川崎 ()	鎌田 ()	19
	古賀 (健)	金子 ()		宮浦 ()	西田 ()	
	井口 ()	佐伯 ()		竹下 ()	原賀 ()	
リベロ： 正近				リベロ： 嶋田		
	() ()	() ()	第4セット	() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
リベロ：				リベロ：		
	() ()	() ()	第5セット	() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
リベロ：				リベロ：		

<監督コメント>	

<要約レポート>

男子の頂点を決する一戦は、19大会振りの優勝を目指す古豪鎮西高等学校と今大会連覇を狙う東福岡高等学校との九州対決となった。第1セット序盤から手の内を知り尽くした相手同士、サイドアウトを繰り返すも、東福岡の金子の目の覚めるようなブロックをきっかけに、一気に抜け出した東福岡が第1セットを先取る。

第2セットに入り、東福岡のセッター井口はセンター線を中心に攻撃を組み立てる、対する鎮西はリベロ嶋田のスーパーレシーブを鎌田のバックアタックで対抗するが、このセットを東福岡が取り、勝利に王手をかけた。

第3セットは、終始リズムを掴んだ東福岡の金子が早いバックアタックで、鎮西を追い詰める。対する鎮西も川崎のブロック等で追いつがるも、最後は東福岡古賀がアタックを決め、聖地東京体育館に悲願の2連覇を果たし東福岡高等学校の校歌が流れ、超満員の観客がこれを見守った。

作成者：仲 博史(東京)

観客数： 8,200	開始時間： 17:00	終了時間： 18:58	試合時間： 01:58	主審： 浅野 泰弘	副審： 大下 孝
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	----------

鎮西高等学校

監督： 畑野 久雄
 コーチ： 宮迫 竜司

通算： - 勝 - 敗
 ポイント：

3	14	第1セット 【 00:21 】	25
	25	第2セット 【 00:24 】	23
	25	第3セット 【 00:23 】	19
	21	第4セット 【 00:24 】	25
	15	第5セット 【 00:14 】	13

駿台学園高等学校

監督： 梅川 大介
 コーチ： 青木 誠

通算： - 勝 - 敗
 ポイント：

【 】内はセット時間
 ()内は交代選手

<h4><監督コメント></h4>

14	原賀	竹下	第1セット	村山	安田	25
	()	()		()	()	
	西田	宮浦		望月	吉田	
()	()	(近江)	()			
鎌田	川崎	坂下	貝原			
()	()	()	()			
リベロ： 嶋田		リベロ： 土岐				
25	原賀	竹下	第2セット	望月	村山	23
	()	()		(伊藤)	(近江)	
	西田	宮浦		坂下	安田	
()	()	()	()			
鎌田	川崎	貝原	吉田			
()	()	()	()			
リベロ： 嶋田		リベロ： 土岐				
25	原賀	竹下	第3セット	村山	安田	19
	()	()		()	()	
	西田	宮浦		望月	吉田	
()	()	(近江)	()			
鎌田	川崎	坂下	貝原			
()	()	(藤原)	()			
リベロ： 嶋田		リベロ： 土岐 高橋				
21	原賀	竹下	第4セット	望月	村山	25
	()	()		(近江)	()	
	西田	宮浦		坂下	安田	
()	()	(伊藤)	()			
鎌田	川崎	貝原	吉田			
()	()	()	(藤原)			
リベロ： 嶋田		リベロ： 土岐				
15	原賀	竹下	第5セット	望月	村山	13
	()	()		(伊藤)	()	
	西田	宮浦		坂下	安田	
()	()	(藤原)	(近江)			
鎌田	川崎	貝原	吉田			
()	()	()	()			
リベロ： 嶋田		リベロ： 土岐				

<h4><監督コメント></h4>

<要約レポート>

5年振りの決勝進出を目指す鎮西と高校総体準優勝で初の決勝進出に挑む駿台学園の対決となった。第1セット、序盤は互いにスパイクを決め合う展開となったが、中盤以降、駿台学園は村山のブロックが要所所で決まり、第1セットを先取る。

第2セット、鎮西・宮浦、鎌田のバックアタックで駿台学園のブロックに的を絞らせず、粘り強く点を積み重ねた鎮西がセットを取り返す。

第3セット、序盤に鎮西が6点差をつけてリードする。中盤一度は駿台学園に追いつかれるが、鎮西は川崎・竹下にボールを集め、このセットを取り一歩リードした。

第4セット、序盤から連続得点を重ねていく駿台学園が終始リードを保ったまま、フルセットに持ち込んだ。

第5セット、2連続ブロックでリードとした鎮西が勢いに乗り試合を進め、最後は宮浦がライトからのスパイクを決め、2時間近くの激闘を制した。



A 試合会場レポート

試合番号 **103**

開催日 **2016/01/09**

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会男子 会場：東京体育館

観客数： 7,500	開始時間： 14:25	終了時間： 16:29	試合時間： 02:04	主審： 水間 尚	副審： 仲 博史
------------	-------------	-------------	-------------	----------	----------

創造学園高等学校

監督：壬生 義文
コーチ：壬生 裕之

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

2	21	第1セット 【 00:24 】	25	3
	12	第2セット 【 00:21 】	25	
	25	第3セット 【 00:27 】	21	
	25	第4セット 【 00:25 】	18	
	10	第5セット 【 00:15 】	15	

東福岡高等学校

監督：藤元 聡一
コーチ：小藤 稔

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

【】内はセット時間
()内は交代選手

<p><監督コメント></p>

21	森田	池田	第1セット	井口	古賀(健)	25
	()	()		()	()	
	渡辺	ジェフリー		佐伯	安部	
()	()	()	(宮園)	()		
正来	中野(竜)	金子	井上	(福元)		
()	()	()	()	()		
リベロ： 角	リベロ： 正近					
12	森田	池田	第2セット	佐伯	井口	25
	()	()		()	()	
	渡辺	ジェフリー		金子	古賀(健)	
()	()	()	()	()		
正来	中野(竜)	井上	安部	(宮園)		
(堀)	()	()	()	()		
リベロ： 角	森野	リベロ： 正近				
25	中野(竜)	池田	第3セット	井口	古賀(健)	21
	()	()		()	()	
	渡辺	ジェフリー		佐伯	安部	
()	()	(古賀(拓))	(宮園)	()		
正来	森田	金子	井上	(福元)		
()	()	()	()	()		
リベロ： 角	森野	リベロ： 正近				
25	中野(竜)	池田	第4セット	佐伯	井口	18
	()	()		()	()	
	渡辺	ジェフリー		金子	古賀(健)	
()	()	()	()	()		
正来	森田	井上	安部	(宮園)		
()	()	(福元)	()	()		
リベロ： 角	リベロ： 正近					
10	中野(竜)	池田	第5セット	佐伯	井口	15
	()	()		()	()	
	渡辺	ジェフリー		金子	古賀(健)	
()	()	()	()	()		
正来	森田	井上	安部	(宮園)		
()	()	()	()	()		
リベロ： 角	リベロ： 正近					

<p><監督コメント></p>

<要約レポート>

多彩な攻撃で強豪チームを倒し勢いに乗る創造学園と昨年度三冠で今年度の国体を制した東福岡との対戦は、一点を争う白熱した試合となった。

第1セット、中盤まで創造学園ジェフリーと池田、東福岡・金子と古賀(健)のスパイクが決まり一進一退の攻防が続く。しかし、東福岡は福元のスパイク、古賀(健)のブロックをきっかけにリズムを掴みセットを先取した。

第2セット、東福岡・井上のサイドアタックや安部のクイックやブロックでリードを広げ、10連続得点でこのセットの勝負を決めた。

第3セット、両セッターの好トスからスパイクが決まりサイドアウトが続く中、創造学園が森田、渡辺の攻守に渡る活躍で主導権を握る。東福岡も金子、古賀(健)のスパイクで追い上げる。しかしジェフリーのブロックで差を広げた創造学園が逃げ切り、セットを取り返した。

第4セット、第3セットの勢いのまま創造学園リードで試合が進む。中盤以降も創造学園は中野、渡辺のスパイク、正来のブロックが決まり、このセットも取ると試合を最終セットに繋げた。

第5セット、両チームの死力を尽くしたプレーが続く。8対8から東福岡・金子、古賀(健)両エースのスパイク、ブロックで一気にリードを広げ、最後は佐伯がスパイクを決め東福岡が決勝に進んだ。

作成者：伊藤 薫(山形)



A 試合会場レポート

試合番号 **102**

開催日 **2016/01/09**

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 会場：東京体育館

観客数： 10,000	開始時間： 12:30	終了時間： 13:44	試合時間： 01:14	主審： 岩田 博雄	副審： 細井 啓太
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------

文京学院大学女子高等学校

監督：吉田 岳史
コーチ：天野 嘉之

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

0	18	第1セット 【 00:23 】	25	3
	16	第2セット 【 00:23 】	25	
	12	第3セット 【 00:22 】	25	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

下北沢成徳高等学校

監督：小川 良樹
コーチ：佐々木 早紀

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

【】内はセット時間
()内は交代選手

<監督コメント>

18	北川	富澤	第1セット	熊井	山崎	25
	()	()		()	()	
	レラ	花澤		小茂田	山口	
()	()	()	()	()		
熊谷	多田野	黒後	堀江			
(長内)	()	()	(武田)	()		
リベロ： 高津		リベロ： 池谷				
16	北川	富澤	第2セット	熊井	山崎	25
	()	()		()	()	
	レラ	花澤		小茂田	山口	
()	()	(片岡)	(高橋)			
熊谷	多田野	黒後	堀江			
()	()	()	(武田)	()		
リベロ： 高津		リベロ： 池谷				
12	北川	富澤	第3セット	熊井	山崎	25
	()	()		()	()	
	レラ	花澤		小茂田	山口	
()	()	(片岡)	()			
長内	多田野	黒後	堀江			
()	()	()	()	()		
リベロ： 高津		リベロ： 池谷				
	()	()	第4セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ：		リベロ：				
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ：		リベロ：				

<監督コメント>

<要約レポート>

文京学院大学女子は12年振り、下北沢成徳は3年振りの決勝進出のかかった、東京都同士の準決勝となった。第1セット、下北沢成徳は堀江、山口のスパイクが冴え、10-5とリードする。その後も黒後のスパイクが次々と決まり、16-9とリードを広げる。文京学院大女も富澤のスパイクで3点差につめ寄るが、最後は下北沢成徳・小茂田のスパイクが決まり、セットを先取した。第2セット、文京学院大女・富澤のスパイクでリードする。下北沢成徳は徐々に差をつめ、熊井の連続スパイクや小茂田のブロックで突き放し、セットを連取した。第3セット、文京学院大女は怪我で控えに回った長内を投入し流れを変えようとする。しかし下北沢成徳の勢いを止めるのは難しく、下北沢成徳が黒後のスパイクやサーブで8-5する。文京学院大女は長内や富澤がスパイクを決めて反撃するも、終始リードを守った下北沢成徳が25-12でこのセットを取り、決勝に駒を進めた。

作成者：浅野 泰弘（北海道）



A 試合会場レポート

試合番号 **101**

開催日 **2016/01/09**

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 会場：東京体育館

観客数： 10,000	開始時間： 10:00	終了時間： 11:57	試合時間： 01:57	主審：伊藤 薫	副審：上土谷 政高
-------------	-------------	-------------	-------------	---------	-----------

金蘭会高等学校

監督：池条 義則
コーチ：林 寛二

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

1	24	第1セット 【 00:29 】	26	3
	25	第2セット 【 00:27 】	20	
	20	第3セット 【 00:26 】	25	
	17	第4セット 【 00:26 】	25	
		第5セット 【 】		

八王子実践高等学校

監督：貫井 直輝
コーチ：熊田 隆一

通算： - 勝 - 敗
ポイント：

【】内はセット時間
()内は交代選手

<p><監督コメント></p>

24	島田(櫻)	白澤	第1セット	積山	吉田	26
	()	(金戸)		(八木沢)	()	
	高橋	島田(美)		平川	野嶋(華鈴)	
()	()	()	()	()		
平田	林	東谷	野嶋(華澄)			
(廣瀬)	()	()	(樋沢)			
リベロ：長田(実) 大嶋		リベロ：森田				
25	島田(櫻)	白澤	第2セット	積山	吉田	20
	()	()		(伊藤)	(樋沢)	
	高橋	島田(美)		平川	野嶋(華鈴)	
()	()	()	()	()		
平田	林	東谷	野嶋(華澄)			
()	()	()	(八木沢)			
リベロ：長田(実)		リベロ：森田				
20	島田(櫻)	白澤	第3セット	積山	吉田	25
	()	(金戸)		()	()	
	高橋	島田(美)		平川	野嶋(華鈴)	
()	()	()	()	()		
平田	林	東谷	野嶋(華澄)			
(廣瀬)	()	()	(樋沢)			
リベロ：大嶋		リベロ：森田				
17	島田(櫻)	白澤	第4セット	積山	吉田	25
	()	(金戸)		(樋沢)	()	
	高橋	島田(美)		平川	野嶋(華鈴)	
()	()	()	()	()		
平田	林	東谷	野嶋(華澄)			
(宮部)	()	()	()			
リベロ：長田(実) 大嶋		リベロ：森田				
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ：		リベロ：				

<p><監督コメント></p>

<要約レポート>

第1セット、金蘭会は島田(櫻)、林の活躍により、11-7と八王子実践をリードする。対する八王子実践は吉田のサービスエースなどで11-11と追いつき、その後一進一退の攻防をみせる。最後は金蘭会のスパイクがアウトになり、八王子実践が第1セットを先取した。

第2セット、金蘭会は島田(櫻)のスパイクなどで7-2と大きくリードする。その後も林のスパイクで11-4と差を広げ、八王子実践を引き離す。八王子実践は積山、東谷のスパイク、伊藤のサービスエースで反撃するも、25-20で金蘭会がこのセットを取りタイに戻す。

第3セット、金蘭会は島田(櫻)、高橋、林、八王子実践は東谷、積山の活躍により接戦となる。八王子実践・東谷のスパイクが決まり19-22とリードをする。その後も東谷のスパイクで24点とし、その勢いのままこのセットをとり八王子実践が決勝進出に王手をかけた。

第4セット、金蘭会のリズムで試合が進む。八王子実践は1-5となったところで、1回目のタイムアウトをとりリズムを変えようとする。すると八王子実践は東谷のスパイクとサーブ、吉田のスパイクで6連続得点をして、14-11と逆転し流れを引き戻す。金蘭会も白澤と島田(櫻)の活躍で16-23となったところで、エース宮部を投入する。しかし八王子実践の勢いは止まることなく、金蘭会の2連覇を阻止した。

作成者：大下 孝(愛知)